

《特に印象深かった内容》

- ・ネットは、大変便利。でも、クルマとっしよで、使い方を間違えればトラブルになる。
- ・ルールづくり（約束づくり）で依存症やトラブルを回避できる（使用時間、使用場所、課金について）。
- ・ネットの中は、名前を明かしていなくても、匿名ではない。誰が書いたかは、調べれば、すぐに必ず分かる。
- ・UPした情報は、一瞬にして世界に広がる。すぐ消しても誰かに見られ、広がってしまう（デジタルタトゥー）。
- ・今ふざけてUPしたよくない内容が、時限爆弾のように将来（就職、結婚等において）あなたの人生を狂わすかもしれない。
- ・なりすまは、誰にでも簡単にできる分だけ、誰もが簡単に犯罪に手を染める。フィルタリングの活用で被害を防ぐ。
- ・そのボタンを押す前に、一度立ち止まって考えよう。その失敗が、一生あなたの足を引っ張り続けるかもしれない。
- ・動画、画像には様々な情報が入っている。小さなこと（制服、景色、GPS情報）から個人を特定され、付きまといなどの犯罪被害にあうこともある。
- ・違法ダウンロードで著作権を侵害すれば、多額の罰金や懲役刑があなたにふりかかることもあり得る。
- ・基本として、不特定多数の写る動画、画像はUPしない。UPするなら、全ての人に許可を取る必要がある。

【まとめ】

- ・ルールづくりが大切。保護者と話し合い、具体的なルールを決めることであなたの身を守ることができる。
- ・機器とアプリの設定を確認し、適切に管理する。
- ・フィルタリングの活用は、犯罪に巻き込まれることの予防として有効。
- ・18歳未満のフィルタリング利用は、法律で決められている。
- ・こころの「すき」をつくらない。
 - ・「自分だけは大丈夫だろう」
 - ・「どこかにうまい話はないかな」
 - ・「タダ（無料）だからいいや」
 - ・「あいつ、このくらいは気にしないでしょ」
 - ・「これくらいならバレないでしょ」
- ・何かトラブルがおきた際は、富山県警察、サイバー犯罪対策課にご相談ください。